NO. 4

自立活動の部屋　～かがやき★自立活動通信～

令和５年１２月２１日

埼玉県立草加かがやき特別支援学校　自立活動専任

「ことばの育ち」

教職員研修で本校外部専門家そうか光生園 ST 柳田美佐先生を講師に「子どものことばを育てるかかわりかた」のお話をして頂きました。第４号ではその内容をふまえながら、「ことばの育ち」についてお伝えします。

ことばの働きをつかさどるのは大脳！
大脳がよく働くためには脳幹・脊髄系・小脳・大脳周辺系が機能する必要があります。

そのためには…

口の動きの学習や名称の学習だけではなく、生活リズムを整えること、食べること、しっかり身体を使うこと、様々な物に触れること、豊かな体験や経験、楽しく遊ぶこと等を通した全体的な発達が「ことば」につながります。
脳全体がスムーズにはたらくように、心も体も心地よい状態にしておくことも大切です。

図３ 「ことばのビル」 中川信子
１階、２階、３階・・・積みあがった最上階に「ことば」があります。ビルを建てる際に最上階からは作りません。土台をしっかり固めたうえで、だんだん上に積み上げていきます。「ことばがでない」→絵カードで覚える、話す練習をするだけではなく、土台から整えることでほんとうのことばの力を育てましょう。

図３

出典：中川信子（１９８６）ことばをはぐくむ.ぶどう社

ポイント①

「感覚」を育てよう！

脳のはたらきを高めるために、様々な感覚の発達が大切になります。3つの「基礎感覚」は普段意識しづらい感覚ですが、ベースになる大切な感覚です。

前庭感覚：自分の体が地球の引力に対してまっすぐか、傾いているか、止まっているか、動いているかの感覚　身体のバランスを調整し、姿勢をコントロール

固有感覚　：体の筋肉の伸張・収縮、関節の曲り方、伸び方、腱の状態などの感覚　身体の位置や動きを把握

触覚：皮膚の感覚　痛み・温冷・触覚

触っている物が自分に有害かどうかを瞬時に判断（原始系）触ったものの大きさや形、素材などでそれが何かを認識する（識別系）

手押し車、重い荷物を運ぶ、ブランコ、トランポリン、でんぐり返し、回転遊び、くすぐり遊び、粘土、水遊び等、生活や遊びの全てが、基礎感覚の発達につながります。苦手かな？という感覚に日常生活で意図的に働きかけてみましょう。手を使うことも脳の成長には大切です！

ポイント②

わかること　わかることば　生きたことばを増やそう！

人はあることばを言えるようになる前に、ことばがわかるようになります。話す際には聞いたことばを頭で考えて、更に言うことを考えて音ととして表出します。わかること　わかることばを生活の中で経験、体験し、増やしていくことが大切になります。

また、「犬」=「犬のカードのイラスト」だけではなく、「犬は温かい！」「犬は吠える！」「犬はフワフワ」「犬は色々な種類がいる」等、実感を伴なうことで「犬」ということばの意味が豊かになり、生活の中で使えることばになっていきます。

ポイント③

ことばのもつ役割「Communication」

ことばは音声という記号にのせて運ばれる「こころ」です。音声のみが発音ができても、知っている単語が多くても、「伝えたい！」がないと使える場面が限られてしまいます。サインやジェスチャーでも、視線でも、発声でも「伝わり合う」ことができれば「会話」になります。「この人ならわかってくれる！」や「この人に伝えたい！」という人間関係、「このことを伝えたい！」という、心が動くたくさんの体験が、豊かなことばの育ちにつながります。伝えたい気持ちを大切に育てていきましょう！

お子さんからの発信を共感する心のやりとりを大切に！

その上で・・

話すためには発語に必要な器官を意図的に動かせることが必要です

①呼吸・・・肺で息を吸い、一定量ずつ吐き出す

②声帯の振動・・・のどの靭帯のひだを閉じて、空気がその隙間を抜ける時にビリビリふるえて音を出す

③鼻咽腔閉鎖・・・息が鼻から漏れないように喉の奥を閉じる

④構音（発音）・・・舌の形を様々に変えて色々な音を作り出す

生活の中で構音（発音）の基礎をつくろう！

飲むこと　かむこと　吸うこと　吹くこと　舌と唇の動き

基礎作りは食事から！噛み切る、咀嚼する動きを引き出していきましょう。口周りのマッサージ、にらめっこ等の顔あそび、吹矢あそび、シャボン玉、鏡を息で白くする等の遊び等も口周りの動きの発達につながります！

「あー」って何秒言えるかな？？←息を長く出す練習になります！

舌と唇の動きにつながる「おロの体操」の動画を本校ホームページ→自立活動→動画「体そう・トレーニング」に掲載しています。是非ご活用ください。

お話しは出来るけれど、発音が不明瞭な場合は・・・

●母音の口型チェック

あ	い	う	え	お
○	―	ｏ	⬭	◯

ひらがなと口型のマッチング、自分の口の形わかるかな？

●５０音のチェック

どの音が出ていてどの音が難しい？

母音⇒ま・ば・ぱの両唇音⇒その他の音　の順に

その他、書いたことばをゆっくり読むことも発音の練習になります。

鏡を使って、顔のまねっこ！

飛べ！ストロー吹き矢！

「ふーっ」で机の端までティッシュを運ぼう！

まとめ

★コミュニケーションの充実★

・話せることだけがいいこととは限らない

意思表示が出来ること　相手に伝わる手段を持つこと

（ジェスチャー・サイン・文字・絵カード等）

人と関わりたい気持ちを伸ばすことが大切！

★発達全体を促す関わり★

・全ての活動がことばに関わる

できるようになったことをみよう！

ほめよう！

生活の全てがことばにつながります。豊かなことばを育てていきましょう！

参考：柳田美佐　草加かがやき特別支援学校職員研修資料.こどものことばを育てる関わり方

中川信子（１９８６）ことばをはぐくむ.ぶどう社

イラスト出典：いらすとや